

チョコレート・ファイター (2008)

CHOCOLATE

メディア 映画

ジャンル アクション 格闘技

製作国 タイ

色彩 Color

時間 93分

初公開日 2009/05/23

公開情報 東北新社

映倫 PG-12

【キャッチコピー】

この蹴りに世界がひれ伏す！！！！！！！！

【解説】

予告編が公開されるや、そのあどけなさの残るルックスからは予想もつかないリアルかつアクロバティックな本格アクションを披露し、たちまち世界中の映画ファン注目の的となった無名の新人ヒロイン“ジージャー”が放つ驚異の格闘アクション・ムービー。主演のジージャーことヤーニン・ウィサミタナンは、「マッハ！」でトニー・ジャーを世に送り出したタイのプラッチャヤー・ピングーオ監督が4年の歳月をかけて基礎から育て上げたというアクション界期待のニュー・ヒロイン。共演は「チーム・バチスタの栄光」「歩いても 歩いても」の阿部寛。

日本の大物ヤクザ、マサシとタイ人女性ジンとを両親に持つゼン。自閉症の彼女はチョコレートとアクション映画が大好きな女の子。たぐいまれな身体能力で、ビデオで一度観たアクションをすぐに自分の技にしてしまう。美しく成長したゼンはある日、最愛の母ジンが白血病に冒されていることを知る。多額の治療費を工面するため、ジンの手帳に記されたリストを頼りに、彼女が金を貸している人々を訪ねて金を回収してまわろうとするゼンだったが…。

【クレジット】

| | | | |
|---------|-------------------|------------------------|-------|
| 監督 | プラッチャヤー・ピングーオ | Prachya Pinkaew | |
| 製作 | プラッチャヤー・ピングーオ | Prachya Pinkaew | |
| | アカラポール・テック | Akarapol Tech | |
| 脚本 | チューキアット・サックウィーラクン | Chukiat Sakveerakul | |
| 撮影 | デーチャー・スリマントラ | Decha Srimantra | |
| アクション監修 | パンナー・リットグライ | Panna Rittikrai | |
| 出演 | ジージャー | JeeJa | ゼン |
| | 阿部寛 | | マサシ |
| | ポンパット・ワチラバンジョン | Pongpat Wachirabunjong | ナンバー8 |
| | アマラー・シリポン | Ammara Siripong | ジン |
| | イム・スジョン | | |
| | タポン・ポップワンディー | Taphon Phopwandee | ムン |